

(上段)

七

淨し時仙經等やけにき此經
經に對せさりし時は薪につゝ
みこめてやきしに焼さりき

〓 やけぬるなり

〓 にして焼亡にき

ては焼しそかし佛教の内にても
又々かくのこし花嚴經は一權一

實一妄語一眞實方等經は三權

一實三妄語一眞實般若經は二

權一實二妄語一眞實阿

含經は出世間の一權なり世

間に對すれば實語なれとも佛教

の中の妄語なり大日經金剛

頂經蘇悉地經の兩部の

眞言は三權一實三妄語

(下段)

八

一實語法花經に對せば一切經一向妄
語となるへし而を漢土にては善

無畏三藏大日經の眞言と法花經

とをは一義二經になしぬ其上に印と

眞言とを加て超過と云云純圓の

法花經を帶權の大日經に混合

しつれば法花經かへて帶權の

經となり經王國に失しかは

世王又たて或は大王臣下にをかされ

或は他國にあなつられやうや

くすくるほとに禪宗念佛宗

等の邪法かさなりて終に主しなき

國となりぬ佛法は主鉢なり世

法は影響なり鉢曲れば影な

めなりといは此なり日本國は又桓武の御世に

一、所在 靜岡縣錦田村玉澤妙法華寺

一、系年 身延御在山中の御筆

一、筆蹟 假名交り草筆文

一、紙質 楮紙

一、員數 二紙貼一幅

一、寸法 豎各一尺一分

巾 上一尺四寸
下一尺四寸五分

一、行數 上部、下部、各十五行
(第七紙目と第八紙目)

一、遺文 御遺文中に未だ見當らず

一、發見 宗寶調査之砌

(藤田教宏誌)

高祖御書目
五家御書目

Handwritten text in cursive style, likely a list or index of calligraphy scrolls. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the page and moving towards the left. The characters are dense and difficult to read due to the cursive style and the grainy texture of the image. The text appears to be a detailed inventory or a list of titles for various scrolls, possibly related to the 'Five Families' mentioned in the header.